

福音メッセージ 病める心と健やかな心

マルコの福音書 5章 1～20節 【新改訳改訂第3版】

- 1 こうして彼らは湖の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。
- 2 イエスが舟から上がられると、すぐに、汚れた霊につかれた人が墓場から出て来て、イエスを迎えた。
- 3 この人は墓場に住みついており、もはやだれも、鎖をもってしても、彼をつないでおくことができなかった。
- 4 彼はたびたび足かせや鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせも砕いてしまったからで、だれにも彼を押さえるだけの力がなかったのである。
- 5 それで彼は、夜昼となく、墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていた。
- 6 彼はイエスを遠くから見つけ、駆け寄って来てイエスを拝し、
- 7 大声で叫んで言った。「いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのですか。神の御名によってお願いします。どうか私を苦しめないでください。」
- 8 それは、イエスが、「汚れた霊よ。この人から出て行け」と言われたからである。
- 9 それで、「おまえの名は何か」とお尋ねになると、
「私の名はレギオンです。私たちは大ぜいですから」と言った。
- 10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないでくださいと懇願した。
- 11 ところで、その山腹に、豚の大群が飼ってあった。
- 12 彼らはイエスに願って言った。「私たちを豚の中に送って、彼らに乗り移らせてください。」
- 13 イエスがそれを許されたので、汚れた霊どもは出て行って、豚に乗り移った。
すると、二千匹ほどの豚の群れが、険しいがけを駆け降り、湖へなだれ落ちて、湖におぼれてしまった。
- 14 豚を飼っていた者たちは逃げ出して、町や村々でこの事を告げ知らせた。
人々は何事が起こったのかと見にやって来た。
- 15 そして、イエスのところに来て、悪霊につかれていた人、すなわちレギオンを宿していた人が、
着物を着て、正気に返ってすわっているのを見て、恐ろしくなった。
- 16 見ていた人たちが、悪霊につかれていた人に起こったことや、豚のことを、つぶさに彼らに話して聞かせた。
- 17 すると、彼らはイエスに、この地方から離れてくださるよう願った。
- 18 それでイエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人が、お供をしたいとイエスに願った。
- 19 しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。
「あなたの家、あなたの家族のところに戻り、主があなたに、
どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」
- 20 そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にどんなに大きなことをしてくださったかを、
デカポリスの地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。

病める心と健やかな心 (マルコの福音書 5:1~20)

2017年2月5日

I 悪霊に憑かれた人

- (1) ゲラサ：ヘレニズム文化が繁栄した大都会
- (2) 悪霊に憑かれた人のもとに行くイエス
 - 人は神と交わるために、神に似せて造られたが…
- (3) 特徴
 - 墓場：生きているが死んでいる
 - 超能力：ある種の並外れた力、しかし人の役に立つことはない
 - 絶叫：見捨てられて絶望、表現できない悲しみ
 - 自分を傷つける：自分を罰する
 - イエスを拒む：惨めな状況なのに、そこから離れたくない



ゲラサ（ジェラシュ）＝ヨルダン



ゲラサの墓所（骨になったら石棺に納める）

II イエスはどうされたか

- (1) 嵐を乗り越えてゲラサに
 - 舟で熟睡しておられたのはこの時のため
- (2) 悪霊はイエスを恐れている
 - 男はイエスの前にひれ伏す（「拝し」）
 - 「もう審判に来られたのですか」（マタイ 8章参照）
- (3) 男と悪霊を区別
 - 名前を訊ねる：相手の上に立つ
 - 「レギオン」ローマの軍勢の単位。最大は8千人。
 - 何と2千ほどの悪霊がこの男に取り憑いていた！
- (4) 悪霊が豚に乗り移るのを許される
 - 豚2千頭がパニックになり、湖で溺れる。（1頭3万円〔時価〕として6千万円の損失！）
 - 豚：イスラエルでは禁じられている肉。ブラックビジネス（Cf.ケシの花の栽培⇒アヘン）
 - 悪霊が出ていった確証



III 癒しの奇跡

- (1) 正気に戻る
 - 着物を着て（それまでは裸）、正気に返って座っている（弟子の姿）
 - イエスのお供をしたい（直訳：イエスといっしょにいたい）
 - 家族のもとへ（家族関係の回復）
- (2) ゲラサの人々の反応
 - イエスにこの土地から出て行って欲しい
 - 自分たちの生活は変えたくない
- (3) ボブ・ディラン(ノーベル文学賞受賞)に何があったのか

ボブ・ディランの昔と今



黙示録 3章 19、20節

わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。